

## 令和2年度 第1回 土木計画学研究委員会幹事会 議事録案

日時：令和2年4月22日（水）10：00～12：00

場所：Zoomによるウェブ開催

### ■ 出席者（敬称略）

委員長：藤原章正（広島大）

副委員長：兵藤哲朗（東京海洋大）、白水靖郎（中央復権）、佐々木葉（早稲田大）

幹事長：藤井聡（京都大）

委員兼幹事：松永千晶（福岡女子大）、稲垣具志（中央大）、神田佑亮（呉高専）、栗原剛（東洋大）、田中皓介（東京理科大）、小池淳司（神戸大）、Jan Dirk SCHMOECKER（京都大）、松本浩和（地域未来研）、泊尚志（東北工大）、紀伊雅敦（香川大）、松田曜子（長岡技科大）、岩田圭佑（寒地土研）、吉田樹（福島大）

### ■ 議事次第

1. 委員長挨拶
2. 幹事会合宿の議事録確認【資料02】
3. シンポジウム報告【資料03(1)～(4)】
4. 「プレナリーセッション」について【資料04】
5. 2020年度春大会・秋大会に向けて【資料05】
6. 感染症・災害調査について【資料06】
7. D4について【資料07(1)～(2)】
8. その他

### ■ 議事概要

#### 1. 委員長挨拶

藤原委員長より挨拶がなされた。

#### 2. 幹事会合宿議事録の確認

藤井幹事長より資料02の確認依頼があり、幹事会合宿の議事録が承認された。

#### 3. シンポジウム報告

藤井幹事長より4/1に土木学会講堂において開催されたシンポジウムについて報告があった（資料03(1)）。オンラインで217人、会場で17人（スタッフ含）の参加があり、動画で公開では1,000人以上が視聴している旨の説明があった。高橋東大名誉教

授、天野京大名誉教授の貴重なインタビューも公開されている。

田中委員兼幹事より、参加者一覧、オンタイム質問状況、CPD 受講者アンケートについて説明があり、大きな不満もなく全体的に肯定的にとらえられている旨の紹介があった（資料 03(2)～(4)）。

#### 4. 「プレナリーセッション」 について

##### ・全国大会研究討論会

松永委員兼幹事より応募された全国大会研究討論会の企画案について説明があった（資料 04）。事務局より連絡があり 9/9（水）12:40～14:40 の予定で開催となった。藤井幹事長より打診した柴山氏、田村氏からは快諾を得ていることが確認された。青木氏、中野氏については引き続き検討する。部屋は可能な限り広い部屋を希望する。財政政策、MMT の話題は最新の情報が求められるため、討論会概要や配付資料等については、委員会負担で当日持ち込みにより対応することとなった。話題提供者の依頼状について準備を進める。

##### ・全国大会幹事会セッション

松永委員兼幹事より、2 つのセッションの立ち上げが予定されている旨の説明があり（資料 02）、田中委員兼幹事より合計 10 編（「インフラ政策学を考える」6 編、「土木と教養」4 編）の投稿があったと報告された。「土木と教養」は、科学的な知見に偏りすぎない、定量的・数学的な枠組みを超えた研究・教育を教養として再定義するという意図がある。セッション時間は討論会から連続的に設定し、セッション終了後はそのまま幹事会を開催することが決められた。

##### ・計画学春大会秋大会 幹事会セッション

藤井幹事長より、秋大会のスペシャルセッションでは、河川と土木計画の融合についての議論が目的である旨の説明があった（資料 02）。佐々木副委員長より河川計画研究会の活動について紹介があり、当該グループとの交流があってもよいとの提案があった。春大会では「土木計画の学を考える～熟議の場としての学会の復活～」と題してセッションを立ち上げる。

#### 5. 2020 年度春大会・秋大会に向けて

寺部大会運営小委員長が作成した資料 05 により、コロナウイルスの影響による大会開催の是非や中止の場合の投稿料の扱いの検討状況について確認された。

<ディスカッションでの主な意見>

- ・大会が現地で開催されない場合、プレナリーセッションについては 4/1 のシンポジ

ウムと同様な配信を幹事会からリクエストをすることも考えられる。

- ・講演発表についても全く何もしないより手間がかかっても学会として貴重な情報を残していくためにオンライン開催する方向で検討すべき。エントリーした多くの方々のプレゼンテーション・ディスカッションの機会をどのように提供するのか、という学会の在り方を再検討すべき。
- ・オンライン等の代替手法の検討については開催校にお願いするのではなく幹事会、小委員会が主体となる。ポスターセッションについても要検討課題である。
- ・春大会でまずプレナリーセッションを試してみて、秋大会で投稿論文のオーラルセッションにも踏み込むという考えもある。
- ・応用力学会では口頭発表・ポスター発表いずれも Zoom による開催が決定しており、先行している他学会の状況をレビューすることも大切。
- ・研究小委員会で Zoom による会合を開くと予想以上の参加者が集まる状況。春大会はプログラムが既に決定しているので、Zoom の場所を提供して気楽に入室してもらうような方法で、集約したポータルサイトを幹事会が提供するという考えもある。

## 6. 感染症・災害調査について

藤井幹事長より、新型コロナ禍に関する調査企画案の説明がなされた（資料 06）。佐々木前幹事長からの問い合わせを発端に検討を始め、土木計画学で新型コロナ関連の調査を災害調査の枠組みで取り扱うことが筋であり、予算も 100 万円程度確保されていることから調査体制も十分に積極的に取り組むこととなった。GW 明け頃には調査を実施し、結果のデータはホームページで公開して基礎データとしての活用を図る。

### <ディスカッションでの主な意見>

- ・計画学の視点として、「今何をすべきか」「復旧をどうしていくのか」「平常時に戻った場合に何を考えておくべきか」という視点が重要である。社会経済系では、いま欠かせない物流の価値、止まっている人流の価値についての見直しの議論がある。
- ・ドコモインサイトマーケットより、モバイル空間統計データの分析依頼があり、チームが立ち上がろうとしている（兵藤・福田・塚井ほか）。データは無償提供。
- ・特定の地域のみならず、全国・全世界が被災している状況にあって、グローバルな観点からリアルタイムで政策展開の状況を追っていくことも必要ではないか。米国では地域公共交通に対しても莫大な支援を行おうとしている。
- ・通常の災害調査ではメンバーの移動のための費用がかかるが、新型コロナの場合は人が動いて調査ができない状況である。そのため、費用は主にウェブ調査に振り替え、モバイル空間統計などと併せて探っていくことになろう。予算の範囲内で、個人、世帯、店舗、法人などを対象に全国規模で調査を実施する。サーベイリサーチセンターなどの調査会社の協力も得やすい状況と思われる。

- ・環境問題の観点において、CO2 や GHG の削減によりベースラインに戻ってきている状況であり、ベンチマークとして測っておくとよい。
- ・働く機会が失われてしまっているタクシー運転手の農業への転換といった、異業種間の連携においても社会的な動きがある。
- ・車内における感染蔓延防止の技術開発といったエンジニアリングと計画学を結びつける視点も重要。
- ・通常、大規模災害が発生すると科研費申請のチャンネルが設けられる。ただし、新型コロナは現地調査型ではないため地盤や地震系のグループは動いていないと思われ、まさに土木計画学が担うべきところである。全国レベルで科研のプロジェクトを立ち上げ、そこで土木計画学委員会がイニシアチブをとっていくべき。自然災害研究協議会、土木学会理事会にも状況を確認する。また、今後時系列的に状況が変わっていくことが予想されるため、パネル調査も念頭に実施する。
- ・春大会のプレナリーセッションでは、この問題を幹事会から大きく取り上げるべきではないか。これを含めて寺部大会運営小委員長に連絡する。
- ・地域公共交通に関しても、現場に出かけられないために状況を網羅的に把握できておらず、土木計画学として全体を全方位で把握する取り組みは重要。ポストコロナにおいて、公共交通が元に戻るとはあまり想像がつかない。それは経営難という側面だけではなく、乗合交通が危なくて自家用車が安全であるという認識による利用者流動への影響も多大と思われ、研究の余地がある。疫学の専門と連携してリスクを検討すべき。

## 7. D4 について

藤井幹事長より、土木学会論文集 D4 の設立に関して説明がされた（資料 07）。「土木計画の学」をしっかり査読できるような論文集を想定している。提案レベルとして、D3 のキーワードを変えるだけ（レベル 1）、D4 の設立（レベル 2）、土木計画学ではない新たなネーミング（レベル 3）とある中で、中間レベルとしての提案である。D3 とは別に D4 独自の研究発表会を実施するわけではない。

土木学会論文集を新しく立ち上げる場合は理事会マターとなるが、分冊も対象となるのかの確認が必要。6 月の委員会での承認を経て大会プレナリーで方針を説明する予定。それまでに奥村委員長、高橋委員長、家田会長に情報提供を行う。

## 8. その他

佐々木副委員長より、全国大会の幹事会セッションは、大会での計画学のプレゼンスが弱いといった課題が指摘される中、計画学以外の方々に聞いてもらうのが本来の目的であり、内輪感が出すぎないような配慮が必要との意見があった。

以上